

グリーン・データセンターが支える
企業の省電力活動
事業活動を通じた
CSRの取り組み

P9



3Dスキャナで体形を“見える化”
健康増進への動機づけをサポート
事業活動を通じた
CSRの取り組み

P11



ICTが人と社会にできること

インターネットや携帯電話が普及した現代社会において、
「ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)」は、
日々の生活に欠かせない社会基盤となってきています。
日本ユニシスグループは、CSR活動のコンセプトとして「ICTが人と社会にできること」を掲げ、
事業活動を通じたさまざまな形での情報化社会への貢献をめざしてだけでなく、
地域・社会や地球環境に向けた取り組みにおいてもICT企業としての特徴を活かした活動を推進しています。

電気自動車の
本格的普及に向けて
地球環境のために

P29



子どもたちが安心して過ごせる
情報化社会の実現に向けて
地域・社会とともに

P25



場所に制約されない、タイムラグのない
コミュニケーションを実現
事業活動を通じた
CSRの取り組み

P13



新しいテレワークの構築による、
多様な働き方の実現
社員・家族とともに

P19

新型インフルエンザ対策—
ICT企業ができること
事業継続への取り組み

P33



INDEX

編集方針／報告書概要	2
社長メッセージ	3
スペシャル・メッセージ	5
事業活動を通じたCSRの取り組み	9
お客さまとともに	15
社員・家族とともに	19
地域・社会とともに	25
地球環境のために	29
事業継続への取り組み	33
CSRマネジメント	35
日本ユニシスグループについて	38
ステークホルダーからのメッセージ	39
用語解説／編集後記	41

編集方針

本報告書においては「読みやすい、わかりやすい、読んでみたい」を編集方針とし、多くのステークホルダーのみならず読んでいただける報告書を目標に編集しています。具体的には2008年までと同じく、データや文章の解析ソフトウェアである当社の「MiningPro21®(マイニングプロ21)」を使用し、より平易な文章の目安として、中学3年生の教科書で使用されている語句の使用率を80%以上とすることを目標としています。また、専門的な用語については、巻末の用語解説(P.41~42)で用語の意味を掲載しています。今回の報告書には日本ユニシスグループのお客さまやビジネスパートナー企業のみならず登場いただき、当社グループの活動に対してご意見・ご要望をいただきました。また、「社員一人ひとりが主体」のCSR活動をめざしていきたいとの観点から、各パートや「CSRリレートーク(P.15~35)」コーナーにおいて、当社グループ社員の声を数多く紹介させていただいています。

報告書概要

対象期間

本報告書は、原則として2008年度(2008年4月~2009年3月)の日本ユニシスグループのCSR活動について記載していますが、過年度の活動や2009年度以降の状況についても必要に応じて掲載しています。

対象範囲

日本ユニシスおよび日本ユニシスグループ会社(計28社*)を対象として記載しています。ただし、対象企業すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の主要な活動を中心に掲載しています。

*詳細は、P.38をご覧ください

対象読者

お客さま、株主・投資家、社員をはじめ、取引先、地域社会、NPO(非営利組織)、教育機関など、日本ユニシスグループの幅広いステークホルダーの方々を想定しています。

次回発行予定年月

次回の発行は2010年7月を予定しています。

報告書に関するお問い合わせ先

日本ユニシス株式会社 CSR推進部

〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1
TEL 03-5546-4111(大代表)

<http://www.unisys.co.jp/csr/>
「CSRお問合せ」をご利用ください。



表紙について

表紙の写真は、日本ユニシスグループの2009年度新入社員です。2009年4月、総勢207名のフレッシュマンが日本ユニシスグループの一員となりました。日本ユニシスグループはこれからも、未来を担う「若い力」が大きく成長し続けていけるような企業でありたいと願っています。